

**1 次元/2 次元対応 定置式スキャナー  
L-7052**

**プログラミングマニュアル**

## **はじめにお読みください**

この度はバーコードスキャナーのお買い上げありがとうございます。

通常のご使用は、購入時の設定でお使いいただけますが、変更が必要な場合は、本書をお読みいただき、設定を行ってください。

また、ご使用にあたり不都合、不具合、不明な点等ございましたらマニュアル巻末の「困ったときは」を参照してください。

なお、解決しない場合には、販売店または弊社までご連絡ください。

## **取扱上の注意**

- ・ スキャナーを焼却処分しないでください
- ・ 直射日光が当たる場所、熱を発生する場所には保管しないでください
- ・ スキャナーを湿度の高い場所での使用、保管をしないでください
- ・ スキャナーを落としたり、ぶつけたりしないでください
- ・ スキャナーを分解しないでください

# 目次

接続および設定方法	
USB 接続.....	7
USB 接続 (COM ポートエミュレーション使用時).....	7
パラメータ設定方法.....	8
工場出荷時のデバイス設定デフォルト値.....	9
バージョン情報表示.....	9
読取り照明の設定	
読取り周辺証明の設定.....	10
液晶読取りモードの設定.....	10
読取り照準の設定.....	10
デバイス設定	
パラメータバーコードのスキャン.....	11
ビーブ音の音階.....	11
ビーブ音のボリューム.....	11
スキャンモード.....	12
低消費電力モード.....	12
低消費電力切り替わり時間.....	13
読み取り可能時間.....	14
同一コード読み取り遅延.....	14
読み取り成功時ビーブ音.....	14
[プレゼンテーションモード]時の読み取り可能時間.....	15
USB 接続設定	
USB 接続パラメータデフォルト値.....	16
USB デバイスタイプ.....	17
キーボードタイプ.....	18
キャラクタ間遅延.....	19
不明なキャラクタ.....	20
ALT モード.....	20
FN1 置き換え.....	20
ファンクションキー割り当て.....	21
Caps Lock シュミレート.....	21
大文字・小文字の変換.....	21
バーコード設定	
バーコード設定デフォルト値.....	22
UPC/EAN/JAN	
PC-A 読み取り.....	26
UPC-E 読み取り.....	26
UPC-E1 読み取り.....	26
EAN-8/JAN 8 読み取り.....	26
EAN-13/JAN 13 読み取り.....	27
Bookland EAN 読み取り.....	27

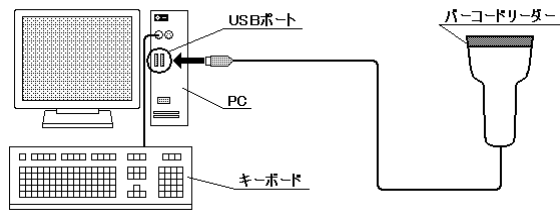
UPC/EAN/JAN アドオン(2桁と5桁).....	27
UPC/EAN/JAN アドオン照合.....	28
UPC-A チェックデジット送信.....	29
UPC-E チェックデジット送信.....	29
UPC-E1 チェックデジット送信.....	29
UPC-A プレマブル(国コードとNS)(JAN13の先頭が「0」).....	30
UPC-E プレマブル(国コードとNS).....	30
UPC-E1 プレマブル(国コードとNS).....	31
UPC-E を UPC-A に変換.....	31
UPC-E1 を UPC-A に変換.....	31
EAN-8/JAN 8 を EAN-13/JAN 13 に変換.....	32
UCC Coupon Extended Code 読み取り.....	32
Code 128	
Code 128 読み取り.....	33
UCC/EAN-128 読み取り.....	33
ISBT 128 読み取り.....	33
Code 39	
Code 39 読み取り.....	34
Trioptic Code 39 読み取り.....	34
Code 39 を Code 32 に変換.....	34
Code 32 プリフィックス.....	35
Code 39 読み取り桁数.....	35
Code 39 チェックデジット検証.....	36
Code 39 チェックデジット送信.....	37
Code 39 Full ASCII 変換.....	37
Code 39 パツファリング.....	37
Code 39 パツファクリア.....	38
Code 39 パツファ送信.....	38
Code 93	
読み取り.....	39
読み取り桁数.....	39
Code 11	
読み取り.....	41
読み取り桁数.....	41
チェックデジット検証.....	42
チェックデジット送信.....	43
Interleaved 2 of 5(ITF)	
読み取り.....	44
読み取り桁数.....	44
チェックデジット検証.....	45
チェックデジット送信.....	46
EAN-13 に変換.....	46

Discrete 2 of 5 (DTF)	
読み取り.....	47
読み取り桁数.....	47
Codabar (NW-7)	
読み取り.....	49
読み取り桁数.....	49
CLSI 編集.....	50
スタート・ストップキャラクタ送信.....	51
MSI	
読み取り.....	52
読み取り桁数.....	52
チェックデジット検証.....	53
チェックデジット送信.....	54
チェックデジットアルゴリズム(検証方法).....	54
郵便コード	
US Postnet 読み取り.....	55
US Planet 読み取り.....	55
UK Postal 読み取り.....	55
UK Postal チェックデジット送信.....	55
Japan Postal 読み取り.....	56
Australian Postal 読み取り.....	56
Dutch Postal 読み取り.....	56
US Postal チェックデジット送信.....	56
GS1 DataBar (RSS)	
GS1 DataBar Omnidirectional (RSS 14) 読み取り.....	57
GS1 DataBar Limited (RSS Limited) 読み取り.....	57
GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded) 読み取り.....	57
UPC/EAN に変換.....	57
コンボジット	
CC-C 読み取り.....	58
CC-A/B 読み取り.....	58
TLC-39 読み取り.....	58
UPC コンボジットモード.....	59
ピープ音のモード.....	59
UCC/EAN コンボジットコードに対する UCC/EAN Code 128 エミュレーション.....	59
2 次元コード	
PDF 417 読み取り.....	60
Micro PDF 417 読み取り.....	60
Micro PDF 417 を Code 128 にエミュレーション.....	60
Data Matrix 読み取り.....	61
MaxiCode 読み取り.....	61
QR コード読み取り.....	61

照合レベル	
照合レベル①.....	62
照合レベル②.....	63
キャラクタ間ギャップサイズ.....	64
Macro PDF	
Macro PDF 送信モード.....	65
コントロールヘッダー送信.....	66
エスケープ文字.....	66
バッファデータ送信.....	66
バッファリング中止.....	66
その他のオプション	
その他のオプションデフォルト値.....	67
コード ID 送信.....	68
プリフィックス・サフィックス値.....	68
送信データフォーマット.....	69
FN1 代替値.....	70
ノーリードメッセージ送信.....	70
数字バーコード.....	71
キャンセルバーコード.....	72
シンボルコード ID 一覧.....	73
AIM コード ID 一覧	
コードキャラクタ表.....	74
修飾キャラクタ表.....	75
ASCII キャラクタ設定用コード表.....	79
ALT キーセット設定用コード表.....	84
ファンクションキーセット設定用コード表.....	85
テンキーセット設定用コード表.....	86
拡張キーセット設定用コード表.....	87
困ったときは (FAQ)	
設定に関するもの.....	88
ハードウェアに関するもの.....	90
サンプルバーコード.....	91

# 接続および設定方法

## USB 接続



- ・USB コネクタを PC の USB ポートに接続

## USBCOM 接続(USB バーチャル COM 使用時)

USB 接続にバーチャル COM を使用してシリアル通信を行います。

接続方法は上記の[USB 接続]と同じです。

USB-COM を使用する場合は、ドライバーをインストールする必要がありますので、以下に説明します。あらかじめ付属 CD を PC に挿入する必要があります。

- Windows 7 32bit,64bit
- Windows XP
- Windows Vista 32bit,64bit
- windows 8 32bit 64bit

※スキャナー本体を PC に繋げない状態でインストールしてください。

- ① CD 内の”driver\USB-COM Driver”フォルダの中の「install\MOTCDC.exe」を実行します。  
※ご利用の環境によっては右クリック“管理者として実行”が必要です。  
64bit の場合は“windows8 64bit をご使用の方\USB-COM Driver(x64)”の中の「USB CDC Driver for Windows 64-bit.exe」を実行します。
- ② 一瞬黒い画面が開きます。  
64bit の場合、画面の指示にしたがってお進みください。詳細は“QR コード日本語入力方法 win8\_64bit.pdf”を参照してください。
- ③ スキャナーを PC に接続し、本プログラムガイド(P17)にてデバイスタイプの“USB-COM”をスキャンしてください。
- ④ スキャナーから起動音が鳴りましたら、インストール完了です。
- ⑤ PC のデバイスマネージャーの“ポート”に”Symbol Bar Code Scanner(COMO)”と表示されます。【64bit は Motorola Scanner virtual USB COM Port(COMO)と表示します。】
- ⑥ 後は変換ソフト等を使用する場合、デバイスマネージャーで確認した COM ポート番号を入力してください。

※弊社のソフトを使用する場合、CD の中にある“QR コード日本語入力方法.pdf”をご参照ください。

## パラメータ設定方法

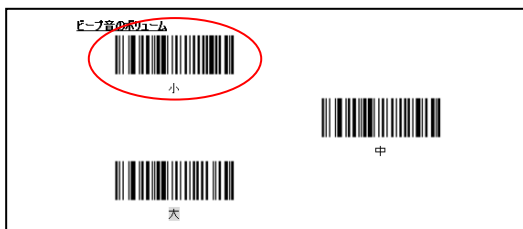
パラメータの設定は、マニュアルに記載されているバーコードをスキャンすることにより変更されます。設定の操作には2種類あります。

- ・1つのバーコードを読み取り設定変更
- ・値の変更が必要な場合は、複数バーコードを読み取り変更

上記の2種類の操作方法を説明します。

### 1つのバーコードを読み取り設定変更

例: ピープ音を小さくする(デフォルトは「大」)



「ピープ音のボリューム」項目内の「小」バーコードをスキャンします。  
「ピロピロッ！」と音が鳴り設定が完了します。

※デフォルトで設定されている値は、内容が**グレーの網掛け**になっております。

### 値の変更が必要な場合は、複数バーコードを読み取り変更

例: プリフィックスに「A」を設定する



1. 「プリフィックス・サフィックス値」項目内の「プリフィックス」バーコードをスキャンします。「ピッポッ！」と音が鳴ります。



2. 「数字バーコード」項目内の「1」、「6」、「5」を順番にスキャンします。「1」、「0」、「6」は「ピッポッ！」と音が鳴ります。「5」は「ピロピロッ！」と音が鳴り設定が完了します。

※設定した後に「送信データフォーマット」の設定を行う必要があります。

(プリフィックス・サフィックスを設定した場合)

※「数字バーコード」にて範囲外の数値をスキャンすると「ポーピーッ！」と音が鳴ります。

その場合は、もう一度はじめてから設定してください。



## 工場出荷時のデバイス設定デフォルト値

パラメータ	値
パラメータバーコードのスキャン	有効
ビープ音の音階	高音
ビープ音のボリューム	大
スキャンモード	トリガーモード
低消費電力モード	有効
低消費電力切り替わり時間	1 秒
読み取り可能時間	9.9 秒
同一コード読み取り遅延	0.6 秒
読み取り成功時ビープ音	鳴らす
スキャンモード 「プレゼンテーションモード」時読み取り可能時間	2 秒

## バージョン情報確認



ファームウェアのバージョン情報表示

## デバイス設定



工場出荷状態に戻す

全てのパラメータがデフォルトに戻ります。

## 読取り照明の設定

### 読取り周辺照明の設定

読取り周辺照明の露出に関する設定です。

無効にすると周辺光源が強くなります。



自動露出 有効



自動露出無効

### 液晶読取りモードの設定

液晶読取りモードの設定です。

有効にすると液晶の読取りが良好になります。※通常読取りは無効の方が良好です。



液晶読取りモード 有効



液晶読取りモード 無効

### 読取り照準の設定

読取り照準の有無の設定です。

無効にすると照準が消えます。



照準 有効



照準 無効

## デバイス設定

### パラメータバーコードのスキャン

パラメータ設定用バーコードの読み取り有無を設定します。



有効



無効

[有効]は読取り可能

### ビープ音の音階



低音



中音



高音

### ビープ音のボリューム



小



中



大

## デバイス設定

### 低消費電力モード

スキャンを行った後は、自動的に低消費電力に切り替わります。



低消費電力モード



常にパワーオン

## デバイス設定

### 低消費電力切り替わり時間

低消費電力に切り替わるまでの時間を設定します。

※[低消費電力モード]の場合のみ適用されます。



1 秒後



5 秒後



1 分後



5 分後



15 分後



1 時間後

## デバイス設定

### 読み取り可能時間

設定した時間までスキャンを試みます。解析  
0.5 秒から 9.9 秒まで 0.1 秒単位で設定ができます。  
デフォルトは 9.9 秒です。

※設定方法(例えば 0.5 秒を設定する)

- ①下の[読み取り時間設定開始]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。



読み取り時間設定開始

### 同一コード読み取り遅延

※「スキャンモード」にて[プレゼンテーションモード]の場合のみ適用されます。  
読み取り可能時間内に同一コードを再び読み取るまでの時間を設定します。  
0.0 秒から 9.9 秒まで 0.1 秒単位で設定ができます。  
デフォルトは 0.6 秒です。

※設定方法(例えば 0.5 秒を設定する)

- ①下の[同一コード読み取り遅延設定開始]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。



同一コード読み取り遅延設定開始

### 読み取り成功時ピープ音

読み取りが成功した時のピープ音を鳴らす設定です。



鳴らす



鳴らさない

## デバイス設定

### [プレゼンテーションモード]時の読み取り可能時間

[プレゼンテーションモード]時に設定した時間までスキャンを試みます。

0.1 秒から 25.5 秒まで 0.1 秒単位で設定ができます。

デフォルトは 2 秒です。

※設定方法(例えば 0.5 秒を設定する)

- ①下の[読み取り時間設定開始]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[0]、[5]をスキャンして完了です。

設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。



読み取り時間設定開始

## USB 接続設定

USB 接続のセットアップの説明を行います。

USB インターフェースは USB ポートに接続して使用します。

### USB 接続パラメータデフォルト値

パラメータ	値
USB デバイスタイプ	HID キーボードエミュレーション
キーボードタイプ	日本語版 Windows
キャラクタ間遅延	遅延なし
不明なキャラクタ	取り除いて送信
ALT モード	無効
FN1 の置き換え	置き換えない
ファンクションキー割り当て	無効
Caps Lock シュミレート	無効
大文字・小文字の変換	無変換



## USB 接続設定

### USB デバイスタイプ

USB デバイスタイプの選択をします。

USB デバイスタイプを変更しますと、スキャナーはリセットされてピープ音が鳴ります。



HID キーボードエミュレーション

USB-HID



COM ポートエミュレーション

USB-COM

※USB-COM を選択する場合、別途ドライバーのインストールが  
必要です。

ドライバーが入っていない状態ですと読取り光が出ません。

また、USB-COM 使用時には変換ソフトが別途必要です。

詳しくは別紙“QRコード日本語入力方法.pdf”をご参照ください。

## USB 接続設定

### キーボードタイプ(USB HID キーボードエミュレーションのみ)

キーボードタイプの設定になります。



標準 英語



ドイツ版 Windows



フランス版 Windows



カナダ(フランス語)版 Windows 2000/XP



カナダ(フランス語)版 Windows 95/98



スペイン版 Windows



イタリア版 Windows



スウェーデン版 Windows



イギリス(英語)版 Windows



日本語版 Windows



ブラジル(ポルトガル語)版 Windows

## USB 接続設定

### キャラクタ間遅延

送信キャラクタ間の遅延時間の設定をします。

USB—HID モード時に桁落ちが起こる場合にご使用ください。



遅延なし



20 ミリ秒



40 ミリ秒

## USB 接続設定

### 不明なキャラクタ(HID キーボードエミュレーション設定時と IBM デバイスのみ)

ホストが認識できないキャラクタが存在した場合のデータ送信設定になります。

「取り除いて送信」を選択した場合は、不明なキャラクタを取り除いてデータを送信します。エラーのビーブ音は鳴りません。

「送信しない」を選択した場合は、IBM デバイスでは、不明なキャラクタを含むデータは送信されずエラーのビーブ音となります。

HID キーボードエミュレーションでは、不明なキャラクタが見つかるまで送信され、不明なキャラクタが存在した時にエラーのビーブ音を鳴らします。



取り除いて送信



送信しない

### ALT モード

キーボードの Caps Lock の影響を受けずに入力できます。

※アプリケーションによっては、動作しません。



有効



無効

### FN1 の置き換え(HID キーボードエミュレーション設定時のみ)

EAN-128 に含まれる「FN1」キャラクタをユーザーで設定されたキャラクタに変換されます。

キャラクタ設定は P71 の「FN1 代替値」で行ってください。



置き換える

※[置き換える]設定時の初期値は、  
Enter 7013 です。



置き換えない

## USB 接続設定

### ファンクションキー割り当て

通常は、ASCII 値の 32 以下は制御キーが送信されます。  
有効にしますと制御キーがファンクションキーに変換されます。  
※制御キーを含んだバーコードを読み取る際は有効にしてください。



有効



無効

### Caps Lock シュミレート

キーボード CapsLock と同様の動作をスキャナーにて設定できます。  
有効にしますと、スキャナーはバーコードデータの大文字・小文字を逆転させて送信します。  
大文字・小文字の逆転はキーボード側の CapsLock の状態に関係ありません。



有効



無効

### 大文字・小文字の変換

バーコードデータを全て大文字または小文字に変換します。



変換なし



全て大文字に変換



全て小文字に変換

## バーコード設定

ここでは、バーコードの読み取り可否やバーコードデータの変換等の設定を行います。デフォルト値を確認して、必要に応じて設定してください。

### バーコード設定デフォルト値

<b>UPC/EAN/JAN</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
UPC-A 読み取り	有効
UPC-E 読み取り	有効
UPC-E1 読み取り	無効
EAN-8/JAN 8 読み取り	有効
EAN-13/JAN 13 読み取り	有効
Bookland EAN ISBN/ISSN 変換	無効
UPC/EAN/JAN アドオン(2桁と5桁)	無効
UPC/EAN/JAN アドオン照合	10
UPC-A チェックデジット送信	有効
UPC-E チェックデジット送信	有効
UPC-E1 チェックデジット送信	有効
UPC-A プレマブル(国コードとNS)	国コードを付加して、NSも送信する
UPC-E プレマブル(国コードとNS)	NSのみ送信する
UPC-E1 プレマブル(国コードとNS)	NSのみ送信する
UPC-E を UPC-A に変換	無効
UPC-E1 を UPC-A に変換	無効
EAN-8/JAN 8 を EAN-13/JAN 13 に変換 (先頭に0が追加)	無効
UCC Coupon Extended Code 読み取り	無効
<b>Code 128</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
Code 128 読み取り	有効
UCC/EAN-128 読み取り	有効
ISBT 128 読み取り	有効

## バーコード設定

<b>Code 39</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
Code 39 読み取り	有効
Trioptic Code 39 読み取り	無効
Code 39 を Code 32 に変換	無効
Code 32 プリフィックス	無効
Code 39 読み取り桁数	最小 2 桁 最大 55 桁
Code 39 チェックデジット検証	無効
Code 39 チェックデジット送信	無効
Code 39 Full ASCII 変換	無効
Code 39 パッファリング	無効
<b>Code 93</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
読み取り	無効
読み取り桁数	最小 4 桁 最大 55 桁
<b>Code 11</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
読み取り	無効
読み取り桁数	最小 4 桁 最大 55 桁
チェックデジット検証	無効
チェックデジット送信	無効
<b>Interleaved 2 of 5 (ITF)</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
読み取り	有効
読み取り桁数	5～30 桁
チェックデジット検証	無効
チェックデジット送信	無効
EAN-13 に変換	無効
<b>Discrete 2 of 5 (DTF)</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
読み取り	無効
読み取り桁数	12 桁のみ

## バーコード設定

<b>Codabar(NW-7)</b>	
パラメータ	値
読み取り	有効
読み取り桁数	最小 5 桁 最大 55 桁
CLSI 編集	無効
スタート・ストップキャラクタ送信	無効
<b>MSI</b>	
パラメータ	値
読み取り	無効
読み取り桁数	最小 4 桁 最大 55 桁
チェックデジット検証	1 つのチェックデジット
チェックデジット送信	無効
チェックデジットアルゴリズム(検証方法)	Mod 10/Mod 10
<b>郵便コード</b>	
パラメータ	値
US Postnet 読み取り	無効
US Planet 読み取り	無効
UK Postal 読み取り	無効
UK Postal チェックデジット送信	有効
Japan Postal 読み取り	有効
Australian Postal 読み取り	無効
Dutch Postal 読み取り	無効
US Postal チェックデジット送信	有効
<b>GS1 DataBar(RSS)</b>	
パラメータ	値
GS1 DataBar Omnidirectional(RSS 14) 読み取り	有効
GS1 DataBar Limited(RSS Limited) 読み取り	有効
GS1 DataBar Expanded(RSS Expanded) 読み取り	有効
UPC/EAN に変換	無効



## バーコード設定

コンポジット	
パラメータ	値
CC-C 読み取り	無効
CC-A/B 読み取り	無効
TLC-39 読み取り	無効
UPC コンポジットモード	いつでもリンク
ビーブ音のモード	各コードタイプをスキャン後ビーブ音
UCC/EAN コンポジットコードに対する UCC/EAN Code 128 エミュレーション	無効
2次元コード	
パラメータ	値
PDF 417 読み取り	有効
Micro PDF 417 読み取り	無効
Micro PDF 417 を Code 128 にエミュレーション	無効
Data Matrix 読み取り	有効
Maxicode 読み取り	無効
QR コード 読み取り	有効
照合レベル	
パラメータ	値
照合レベル①	レベル 1
照合レベル②	レベル 1
キャラクタ間ギャップ サイズ	通常
Macro PDF	
パラメータ	値
Macro PDF 送信モード	パススルー
コントロールヘッダー送信	無効
エスケープ文字	無効

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### UPC-A 読み取り

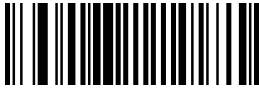


有効



無効

### UPC-E 読み取り



有効



無効

### UPC-E1 読み取り

UPC-E1 は UCC (Uniform Code Council) で承認された規格ではありません。



有効



無効

### EAN-8/JAN 8 読み取り



有効



無効

## バーコード設定 UPG/EAN/JAN

### EAN-13/JAN 13 読み取り



有効



無効

### Bookland EAN ISBN/ISSN 変換



有効

10 桁の ISBN を読み込む場合にのみ有効にしてご使用下さい。13 桁変換に変換します。  
13 桁を読み込む場合、無効にしてください。



無効

### UPC/EAN/JAN アドオン(2 桁と 5 桁)

アドオンが付加されている UPC/EAN/JAN の読み取り設定になります。  
新雑誌コードを読み取る場合には設定が必要です。

#### ・無効

アドオンが付加されている UPC/EAN/JAN は読み取りません。

#### ・アドオンのみ

アドオンが付加されている UPC/EAN/JAN のみスキャン可能です。

#### ・自動識別

アドオンが付加されているか、付加されていないか自動で識別してスキャンします。

「UPC/EAN/JAN アドオン照合」の設定が有効になってきます。

「UPC/EAN/JAN アドオン照合」の設定値は「5」以上を推奨します。

※アドオン付きをスキャンする際に、照準が JAN 13 のみに合っているとアドオン部分は  
読込まれませんので、アドオン部分までしっかり照準を合わせてください。

#### ・先頭 378/379

バーコードの先頭が「378」か「379」で始まる EAN-13/JAN 13 のみ検索して読み取ります。

#### ・先頭 978

バーコードの先頭が「978」で始まる EAN-13/JAN 13 のみ検索して読み取ります。

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### ・先頭 378/379/978

バーコードの先頭が「378」か「379」か「978」で始まる EAN-13/JAN 13 のみ検索して読み取ります。



無効



アドオンのみ



自動識別



先頭 378/379



先頭 978



先頭 378/379/978

### UPC/EAN/JAN アドオン照合

「UPC/EAN/JAN アドオン」で「自動識別」を選択した場合の設定になります。

データを送信する前に照合チェックの回数を設定を行います。デフォルトは 10 になります。

※設定方法 (例えば照合回数を 10 に設定する)

- ①下の[照合回数の設定開始]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。



照合回数の設定開始  
(2~30)

## バーコード設定 UPG/EAN/JAN

### UPC-A チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信すかしないかの設定になります。



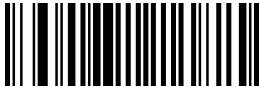
有効



無効

### UPC-E チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信すかしないかの設定になります。



有効



無効

### UPC-E1 チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信すかしないかの設定になります。



有効



無効

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### UPC-A プレマブル(国コードとNS)

UPC-A のバーコードには国コードがありません。また、先頭 1 桁はナンバーシステムキャラクタ (NS) と呼ばれ、NS の値により 2 桁目以降の情報の内容が異なります。

データを送信時に先頭に国コード「0(アメリカ)」の付加と、NS の送信設定をします。



国コードを付加しない、NS を送信しない



NS のみ送信する



**国コードを付加して、NS も送信する**

(先頭 0 の JAN コードの 0 を付加)

### UPC-E プレマブル(国コードとNS)

UPC-E のバーコードには国コードがありません。また、先頭 1 桁はナンバーシステムキャラクタ (NS) と呼ばれ、NS の値により 2 桁目以降の情報の内容が異なります。

データを送信時に先頭に国コード「0(アメリカ)」の付加と、NS の送信設定をします。



国コードを付加しない、NS を送信しない



**NS のみ送信する**



国コードを付加して、NS も送信する

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### UPC-E1 プレマブル(国コードとNS)

UPC-E1 のバーコードには国コードがありません。また、先頭 1 桁はナンバーシステムキャラクター (NS) と呼ばれ、NS の値により 2 桁目以降の情報の内容が異なります。

データを送信時に先頭に国コード「0(アメリカ)」の付加と、NS の送信設定をします。



国コードを付加しない、NS を送信しない



NS のみ送信する



国コードを付加して、NS も送信する

### UPC-E を UPC-A に変換

UPC-E を UPC-A に変換します。

有効にした場合は、変換後に UPC-A の設定(プレマブル、チェックデジット等)が反映されます。



有効



無効

### UPC-E1 を UPC-A に変換

UPC-E1 を UPC-A に変換します。

有効にした場合は、変換後に UPC-A の設定(プレマブル、チェックデジット等)が反映されます。



有効



無効

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### EAN-8/JAN 8 を EAN-13/JAN 13 に変換(先頭に 0 が追加)

EAN-8/JAN 8 を先頭に「0」を 5 桁付加して EAN-13/JAN 13 に変換します。



有効



無効

### UCC Coupon Extended Code 読み取り

先頭 1 桁が「5」から始まる UPC-A、先頭 2 桁が「99」から始まる EAN-13、UPCA/EAN-128 クーポンコードを読み取り可能にします。

UPC-A、EAN-13、EAN-128 の読み取りを「有効」に設定する必要があります。



有効



無効



## バーコード設定 Code 128

### Code 128 読み取り



有効



無効

### UGC/EAN-128 読み取り



有効



無効

### ISBT 128 読み取り

ISBT 128 は、血液銀行産業で使用される Code 128 の異形です。

有効にした場合は、端末側で ISBT データの連結を実行しなければいけません。



有効



無効

## バーコード設定 Code 39

### Code 39 読み取り



有効



無効

### Trioptic Code 39 読み取り

Trioptic Code 39 は、コンピュータテープカートリッジのマークに使用される Code 39 の異形です。

※注意

「Trioptic Code 39 読み取り」の有効と「Code 39 Full ASCII 変換」の有効は同時にできません。



有効



無効

### Code 39 を Code 32 に変換

Code 32 は、イタリアの製薬工業によって使用される Code39 の異形です。

※注意

「Code 39 読み取り」を有効にする必要があります。



有効



無効

## バーコード設定 Code 39

### Code 32 プリフィックス

データの前に「A」を付加します。

※注意

「Code 39 を Code 32 に変換」を有効にする必要があります。



有効



無効

### Code 39 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で最小 2 桁、最大 55 桁です。

※「Code 39 Full ASCII 変換」を有効にする場合は、「設定桁数なし」の設定をすることを勧めます。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の Code 39 しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ① 下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ② P71 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の Code 39 しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ① 下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ② P72 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P73 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Code 39

### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の Code 39 しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ①下の「設定範囲内桁数のみ読み取り」をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。

設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。

設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

### Code 39 チェックデジット 検証

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

モジュラス 43 にてチェックデジットの検証を行います。

[有効]にした場合は、チェックデジットが含まれていない Code 39 の読み取りはできません。



有効



無効

## バーコード設定 Code 39

### Code 39 チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

チェックデジットを送信すかしないかの設定になります。

「Code 39 チェックデジット 検証」が有効でなければ機能しません。



有効



無効

### Code 39 Full ASCII 変換

Code 39 Full ASCII は、完全な ASCII コード(128 文字)をエンコードできる Code 39 の異形です。「ASCII キャラクタ設定用コード表」を参考にしてください。

有効にし、コード表のエンコードキャラクタのバーコードを作成し、読み込むと入力されます。

例) ? を出力するバーコードを作りたい CODE39 で "%J" のバーコードを作成し、スキャン

※注意

「Trioptic Code 39 読み取り」の有効と「Code 39 Full ASCII 変換」の有効は同時にできません。



有効



無効

### Code 39 バッファリング

スキャナーは、複数の Code 39 データを蓄積できます。

有効を選択しますと、先頭にスペースがある Code 39 データを蓄積します。先頭のスペースは削除されます。

有効にする場合は、Code 39 だけ読み取るような構成(設定)にすることをお勧めします。

無効を選択しますと、蓄積せずに送信されます。

## バーコード設定 Code 39



有効



無効

データが蓄積されている場合は、「無効」に設定することができません。バッファは 200 バイトまで情報を保持できます。

バッファにデータがある時に「無効」にする場合は、「バッファ送信」か「バッファクリア」をスキャンしてください。

### Code 39 バッファクリア

蓄積されているデータをクリアする場合はスキャンしてください。

※注意

このバーコードは「-(マイナス)」キャラクタの 1 文字のみですので、「Code 39 読み取り桁数」の最小値は「1」でなければいけません。



Code 39 バッファクリア

### Code 39 バッファ送信

蓄積されているデータの送信方法は 2 種類あります。

- 以下の「Code 39 バッファ送信」をスキャンします。  
蓄積されているデータを送信してバッファがクリアされます。

※注意:

このバーコードは「+(プラス)」キャラクタの 1 文字のみですので、「Code 39 読み取り桁数」の最小値は「1」でなければいけません。

先頭がスペース以外の Code 39 バーコードをスキャンします。

スキャンされたデータが追加され、蓄積されているデータを送信してバッファがクリアされます。



Code 39 バッファ送信

## バーコード設定 Code 93

### 読み取り



有効



無効

### 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で最小 4 桁、最大 55 桁です。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の Code 93 しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の Code 93 しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の Code 93 しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ①下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Code 93

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし



## バーコード設定 Code 11

### 読み取り



有効



無効

### 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で最小 4 桁、最大 55 桁です。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の Code 11 しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の Code 11 しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ②P71の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の Code 11 しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ①下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Code 11

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

### チェックデジット 検証

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

1つのチェックデジットか2つのチェックデジットにて検証を行います。

チェックデジットが無い場合は[無効]を選択してください。



無効



1つのチェックデジット



2つのチェックデジット

## バーコード設定 Code 11

### チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

チェックデジットを送信するかしないかの設定になります。

「チェックデジット 検証」が無効以外でなければ機能しません。



有効



無効

## バーコード設定 Interleaved 2 of 5(ITF)

### 読み取り



有効



無効

### 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で 5～30 桁です。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の ITF しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の ITF しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の ITF しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ①下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Interleaved 2 of 5(ITF)

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り  
(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)  
(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り  
(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

### チェックデジット 検証

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

Uniform Symbology Specification(USS) アルゴリズムか Optical Product Code Council(OPCC) アルゴリズムかを選択します。

どちらかを選択した場合は、チェックデジットが含まれていない ITF の読み取りはできません。

チェックデジットが無い場合は[無効]を選択してください。



無効

※USS に設定して読み取りが出来なかった時は、OPCC に設定してみてください。



USS



OPCC

## バーコード設定 Interleaved 2 of 5(ITF)

### チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信するかしないかの設定になります。



有効



無効

### EAN-13 に変換

有効にしますと、14桁のITFをEAN-13に変換して送信します。

ITFは先頭が「0」でEAN-13のチェックデジットを含まなければなりません。



有効



無効

## バーコード設定 Discrete 2 of 5 (DTF)

### 読み取り



有効



無効

### 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定桁数のみ読み取り」で 12 桁です。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の DTF しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の DTF しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の DTF しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ①下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Discrete 2 of 5(DTF)

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし



## バーコード設定 Codabar(NW-7)

### 読み取り



有効



無効

### 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で最小 5 桁、最大 55 桁です。

※スタート・ストップキャラクタとチェックデジットを含む桁数です。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の Codabar しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の Codabar しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の Codabar しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 4 桁、最大 15 桁を設定する)

- ①下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[4]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Codabar(NW-7)

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

### CLSI 編集

CLSI 編集とは、14 桁の Codabar のスタート・ストップキャラクタを削除し、1 桁目、5 桁目、10 桁目の後にスペースを挿入します。

ホスト側がこの形式のデータが必要な場合は有効にしてください。

注意 Codabar の長さは、スタート・ストップキャラクタを含まず 14 桁です。



有効



無効

## バーコード設定 Codabar(NW-7)

### スタート・ストップキャラクタ送信

スタート・ストップキャラクタを送信するかしないかの設定になります。



有効



無効

# バーコード設定 MSI

## 読み取り



有効



無効

## 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で最小 4 桁、最大 55 桁です。

### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の MSI しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の MSI しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の MSI しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

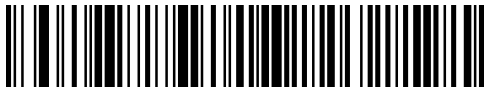
- ①下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P71 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 MSI

### ・設定桁数なし

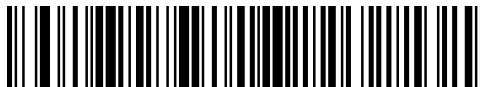
桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



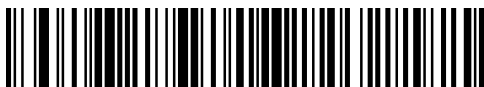
設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

### チェックデジット 検証

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

MSIは必ず1つのチェックデジットが検証されますが、2つ目は任意です。

1つのチェックデジットか2つのチェックデジットにて検証を行います。

「2つのチェックデジット」を選択した場合は、2番目のチェックデジットの検証方法を設定する必要があります。「チェックデジットアルゴリズム(検証方法)」にて設定を行ってください。



1つのチェックデジット



2つのチェックデジット

## バーコード設定 MSI

### チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信するかしないかの設定になります。



有効



無効

### チェックデジットアルゴリズム(検証方法)

「チェックデジット 検証」で「2 つのチェックデジット」を選択した場合に必要な設定となります。  
2 つ目のチェックデジットアルゴリズムを選択してください。



MOD 10/MOD 11



MOD 10/MOD 10

## バーコード設定 郵便コード

### US Postnet 読み取り



有効



無効

### US Planet 読み取り



有効



無効

### UK Postal 読み取り



有効



無効

### UK Postal チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

チェックデジットの送信設定になります。



有効



無効

## バーコード設定 郵便コード

### Japan Postal 読み取り



有効



無効

### Australian Postal 読み取り



有効



無効

### Dutch Postal 読み取り



有効



無効

### US Postal チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信するかしないかの設定になります。



有効



無効



## バーコード設定 GS1 DataBar(RSS)

### GS1 DataBar Omnidirectional(RSS 14) 読み取り



有効



無効

### GS1 DataBar Limited(RSS Limited) 読み取り

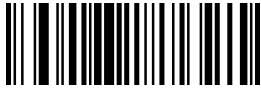


有効



無効

### GS1 DataBar Expanded(RSS Expanded) 読み取り



有効



無効

### UPC/EANに変換

GS1 DataBar OmnidirectionalとGS1 DataBar Limitedに適用されます。

バーコードデータの先頭が「0」の場合は、先頭より(AI含む)「010」を削除してEAN-13に変換して送信します。

バーコードデータの先頭より「0」が2つ以上6つ未満の場合は、先頭より(AI含む)「0100」を削除してUPC-Aに変換して送信します。

「UPC-A プレマブル(国コードとNS)」のパラメータは適用されて送信します。



有効



無効

## バーコード設定 コンポジット

### CC-C 読み取り



有効



無効

### CC-A/B 読み取り



有効



無効

### TLC-39 読み取り



有効



無効

## バーコード設定 コンポジット

### UPC コンポジットモード

コンポジットコードを UPC バーコードであるかのように送信されます。  
3 種類のオプションがあります。

・リンクなし

コンポジットコードが検出されたかに関わらず、UPC を送信します。

・いつでもリンク

コンポジットコードが検出されなければ UPC は送信されません。

・自動

コンポジットコードを自動で識別して UPC を送信します。



リンクなし



いつでもリンク



自動

### ビープ音のモード

コンポジットコードがスキャンされた際のビープ音の設定になります。



スキャン完了時に 1 回ビープ音



合成されているコードそれぞれでスキャン完了時にビープ音



スキャン完了時に 2 回ビープ音

### UCC/EAN コンポジットコードに対する UCC/EAN Code 128 エミュレーション



有効



無効

## バーコード設定 2次元コード

### PDF417 読み取り



有効



無効

### Micro PDF417 読み取り



有効



無効

### Micro PDF 417 を Code 128 にエミュレーション

Micro PDF 417 を Code 128 として送信します。設定を「有効」にした場合は、「コード ID 送信」パラメータを「AIM コード ID」に設定しなければいけません。

設定を「有効」にしますと、以下のプリフィックスが送信されます。

- ・]C1  
先頭のデータが「903～907」、「912」、「914」、「915」の場合
- ・]C2  
先頭のデータが「908」、「909」の場合
- ・]C0  
先頭のデータが「910」、「911」の場合

設定を「無効」にしますと、以下のプリフィックスが送信されます。

- ・]L3  
先頭のデータが「903～907」、「912」、「914」、「915」の場合
- ・]L4  
先頭のデータが「908」、「909」の場合
- ・]L5  
先頭のデータが「910」、「911」の場合



有効



無効

## バーコード設定 2次元コード

### Data Matrix 読み取り



有効



無効

### MaxiCode 読み取り



有効



無効

### QRコード 読み取り



有効



無効

## バーコード設定

照合レベル ① **対象:UPC/EAN/JAN、Code 128 ファミリー、Code 93 以外**  
照合レベルを設定します。

バーコードの品質等によって適切なレベルを設定してください。

高いレベルを設定することによって誤読が減少します。

UPC/EAN/JAN、Code 128 ファミリー、Code 93 は、「照合レベル②」で設定します。

以下にレベル別の説明をします。

### ・レベル 1

以下のコードタイプは 2 回読み込み照合チェックを行います。

コードタイプ	桁数
Codabar (NW-7)	8 桁以下
MSI	4 桁以下
Interleaved 2 of 5 (ITF)	8 桁以下
Discrete 2 of 5 (DTF)	8 桁以下

### ・レベル 2

以下のコードタイプは 2 回読み込み照合チェックを行います。

コードタイプ	桁数
全て	全て

### ・レベル 3

以下のコードタイプは 3 回読み込み照合チェックを行います。

それ以外のコードタイプは 2 回読み込みしょうごうチェックを行います。

コードタイプ	桁数
Codabar (NW-7)	8 桁以下
MSI	4 桁以下
Interleaved 2 of 5 (ITF)	8 桁以下
Discrete 2 of 5 (DTF)	8 桁以下

## バーコード設定

### ・レベル 4

以下のコードタイプは 3 回読み込み照合チェックを行います。

コードタイプ	桁数
全て	全て



レベル 1



レベル 2



レベル 3



レベル 4

### **照合レベル② 対象:UPC/EAN/JAN、Code 128 ファミリー、Code 93**

UPC/EAN/JAN、Code 128 ファミリー、Code 93 の照合レベルを設定します。

バーコードの品質等によって適切なレベルを設定してください。

高いレベルを設定することによって誤読が減少します。

#### ・レベル 0

スキャナーは、規格を満たしているバーコードをスキャンするのに十分な動作をします。

#### ・レベル 1

2 回読み込み照合チェックを行います。

「レベル 0」で誤読が現れる場合は設定してください。

#### ・レベル 2

3 回読み込み照合チェックを行います。

「レベル 2」で誤読が現れる場合は設定してください。

## バーコード設定

### ・レベル 3

4 回読み込み照合チェックを行います。

「レベル 3」で誤読が現れる場合は設定してください。

このレベルを設定する必要がある場合は、バーコードの品質を向上させることをお勧めします。



レベル 0



レベル 1



レベル 2



レベル 3

### キャラクタ間ギャップ サイズ

Code 39 と Codabar (NW-7) には、通常それぞれのキャラクタの間に「キャラクタ間ギャップ」というかなり小さなスペースがあります。

印刷技術によっては、キャラクタ間ギャップが規格の最大サイズを超えることがあり、スキャナーがスキャンできない問題が発生することがあります。

この問題が起こる場合は、「規格外のキャラクタ間ギャップ」を設定してください。



通常



規格外のキャラクタ間ギャップ



## バーコード設定 Macro PDF

Macro PDF は、1 個のファイルに複数の PDF シンボルを連結している特徴があります。  
スキャナーは、最大 50 個までスキャンされた Macro PDF シンボルを 64KB 以上で保存できます。

警告:

印刷時は、各配列にユニークな識別子があるので、それぞれの Macro PDF 配列は別々にしてください。

同じデータをコード化していても、複数の Macro PDF 配列を混ぜないでください。

Macro PDF 配列のスキャン時は、途切れることなく全ての Macro PDF 配列をスキャンしてください。

### Macro PDF 送信モード

設定は 3 種類あります。

#### ・全てのシンボルをバッファリング/完全である時送信

全体の配列がスキャンされ、すべて解読されますと送信します。

限界の 50 のシンボルを超えると、全体がスキャンされていないので送信はされませんので、バッファをクリアするために「バッファデータ送信」をスキャンしてください。

#### ・特定の指示し

配列に関わらず解読されたそれぞれの Macro PDF シンボルを送信します。

このモードを選択した場合は、「コントロールヘッダー送信」を「有効」にしてください。

#### ・パススルー

処理を実行せず、データを解読、送信します。



全てのシンボルをバッファリング/完全である時送信



特定の指示なし



パススルー

## バーコード設定 Macro PDF

### コントロールヘッダー送信

セグメントインデックスやファイル ID 等のコントロールヘッダーの送信有無の設定になります。

「Macro PDF 送信モード」で「特定の指示なし」にした場合は有効にしてください。



有効



無効

### エスケープ文字

エスケープキャラクタとしてバックスラッシュキャラクタを有効にします。(GLI プロトコル)



有効



無効

### バッファデータ送信

以下のバーコードをスキャンしますと、蓄積されたデータを送信してクリアします。



バッファデータ送信

### バッファリング中止

以下のバーコードをスキャンしますと、蓄積されたデータをクリアしてバッファリングを中止します。



バッファリング中止

## その他のオプション

### その他のオプションデフォルト値

パラメータ	値
コードID 送信	無効
SSI プリフィックス値	<CR>
SSI サフィックス 1 サフィックス 2 値	<CR> <CR>
プリフィックス値	<CR><LF>
サフィックス 1 サフィックス 2 値	<CR><LF><CR><LF>
送信データ フォーマット	通常(そのままのデータ)
FN1 代替値	セット
ノーリード メッセージ 送信	無効

## その他のオプション

### コード ID 送信

バーコードのタイプを識別して先頭にコード ID を付加して送信します。

コード ID はプリフィックスとバーコードデータの間に挿入されます。

付加されるコード ID キャラクタは、P74・P75 を参照してください。



シンボルコード ID キャラクタ



AIM コード ID キャラクタ



無効

### プリフィックス・サフィックス 値

1 つのプリフィックスと 2 つのサフィックスをデータに追加することができます。以下のバーコードをスキャンしてから追加するキャラクタの 4 桁の値をスキャンします。

※注意

プリフィックス、サフィックス 1、サフィックス 2 は、複数のキャラクタは設定できません。

「送信データ フォーマット」の設定が必要です。

※設定方法(例えばプリフィックスに「A」を追加する)

①下の[プリフィックス]をスキャン。

②P71 の「数字バーコード」の[1]、[0]、[6]、[5]をスキャンして完了です。

設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします。



プリフィックス



サフィックス 1



サフィックス 2

## その他のオプション

### 送信データ フォーマット

送信データのフォーマットを設定します。



通常(そのままのデータ)



<データ><サフィックス 1>



<データ><サフィックス 2>



<データ><サフィックス 1><サフィックス 2>



<プリフィックス><データ>



<プリフィックス><データ><サフィックス 1>



<プリフィックス><データ><サフィックス 2>



<プリフィックス><データ><サフィックス 1>  
<サフィックス 2>

## その他のオプション

### FN1 代替値(HID キーボードエミュレーション設定時のみ)

EAN-128 に含まれる「FN1」キャラクタを任意で設定したキャラクタに置き換えて送信できます。

P20 の「FN1 の置き換え」にて「置き換える」を設定してください。

デフォルトのキャラクタは「Enter(7013)」になります。

※設定方法(例えば「A」に置き換える)

①下の[FN1 代替値変更]をスキャン

②P71 の「数字バーコード」の[1]、[0]、[6]、[5]をスキャンして完了です

設定を中止する場合は P72 の[キャンセル]をスキャンします



FN1 代替値変更

### ノーリード メッセージ 送信

バーコードを解読できなかった場合に「NR」キャラクタを送信します。



有効



無効

## 数字バーコード

各パラメータ設定を行う際に、数値を設定する場合に以下のバーコードをスキャンしてください。



0



2



4



6



8



1



3



5



7



9

## キャンセルバーコード

「数字バーコード」で間違えた場合に以下のバーコードをスキャンすると設定がキャンセルできます。



キャンセル



## シンボルコード ID 一覧

コード ID	コード種別
A	UPC-A、UPC-E、UPC-E1、EAN-8、EAN-13
B	Code 39、Code 32
C	Codabar(NW-7)
D	Code 128
E	Code 93
F	Interleaved 2 of 5(ITF)
G	Discrete 2 of 5(DTF)
H	Code 11
J	MSI
K	UCC/EAN-128
L	Bookland EAN
M	Trioptic Code 39
N	Coupon Code
R	GS1 DataBar(RSS) ファミリー
T	UCC Composite、TLC-39
X	PDF 417、Macro PDF 417、Micro PDF 417
P00	Data Matrix
P01	QR コード
P02	Maxicode
P03	US Postnet
P04	US Planet
P05	Japan Postal
P06	UK Postal
P08	Dutch Postal
P09	Australian Postal

## AIM コード ID 一覧

AIM コード ID は「**]**」+「**c**」+「**m**」で表現されます。

**]** = フラグキャラクタ

**c** = コードキャラクタ

**m** = 修飾語キャラクタ

### コードキャラクタ表

コードキャラクタ	コード種別
A	Code 39、Code 39 Full ASCII、Code 32
C	Code 128、Coupon(Code 128 一部)
d	Data Matrix
E	UPC/EAN、Coupon(UPC 一部)
e	GS1 DataBar(RSS) ファミリー
F	Codabar(NW-7)
G	Code 93
H	Code 11
I	Interleaved 2 of 5(ITF)
L	PDF 417、Macro PDF 417、Micro PDF 417
M	MSI
Q	QR コード
S	Discrete 2 of 5(DTF)
U	Maxicode
X	Bookland EAN、Trioptic Code 39、 US Postnet、US Planet、UK Postal、 Japan Postal、Australian Postal、Dutch Postal

## AIM コード ID 一覧

### 修飾キャラクタ表

コード種別	オプション値	説明
Code 39	0	チェックデジット検証なし、または Full ASCII 変換なし
	1	チェックデジット検証を行った
	3	チェックデジット検証をしてチェックデジットを削除した
	4	Full ASCII 変換を実行した
	5	Full ASCII 変換を実行してチェックデジット検証を行った
	7	Full ASCII 変換を実行してチェックデジット検証をしてチェックデジットを削除した
	例:	チェックキャラクタ『W』がある Code 39 Full ASCII バーコード『AIMIDW』の場合、『A7AIMID(7=3+4)』と送信される。
Trioptic Code 39	0	指定できるオプションがないので、常に『0』が送信されます。
	例:	Trioptic Code 39 バーコード『412356』の場合、『X0412356』と送信されます。
Code 128	0	最初のシンボル位置に FN1 がない標準データ
	1	最初のシンボル位置に FN1 があるデータ
	2	2 番目のシンボル位置に FN1 があるデータ
	例:	最初の位置に FN1 がある Code (EAN) 128 バーコード『AIMID』の場合、『C1AIMID』と送信されます。
Interleaved 2 of 5 (ITF)	0	チェックデジット検証なし
	1	チェックデジット検証を行った
	3	チェックデジット検証をしてチェックデジットを削除した
	例:	チェックデジットがない ITF バーコード『4123』の場合、『I04123』と送信されます。
Codabar (NW-7)	0	チェックデジット検証なし
	1	チェックデジット検証を行った
	3	送信前にチェックデジット削除
	例:	チェックデジットがない Codabar バーコード『4123』の場合、『F04123』と送信されます。

## AIM コード ID 一覧

### 修飾キャラクタ表

コード種別	オプション値	説明
Code 93	0	指定できるオプションがないので、常に『0』が送信されます。
	例:	Code 93 バーコード『012345678905』の場合、 『G0012345678905』と送信されます。
MSI	0	チェックデジット送信
	1	チェックデジットが送信されなかった
	例:	1つのチェックデジットがある MSI バーコード『4123』の場合、 『M14123』と送信されます。
Discrete 2 of 5 (DTF)	0	指定できるオプションがないので、常に『0』が送信されます。
	例:	DTF バーコード『4123』の場合、『S04123』と送信されます。
UPC/EAN	0	全ての EAN 国コードフォーマットの標準データで、UPC-A と UPC-E の場合は 13 桁(アドオンは含まない)
	1	アドオン 2 桁のみ
	2	アドオン 5 桁のみ
	4	EAN-8 データ
	例:	UPC-A バーコード『012345678905』の場合、 『E00012345678905』と送信される。
Bookland EAN	0	指定できるオプションがないので、常に『0』が送信されます。
	例:	Bookland EAN バーコード『123456789X』の場合、 『X0123456789X』と送信されます。
Code 11	0	1つのチェックデジット
	1	2つのチェックデジット
	3	チェックデジット検証をしてチェックデジットは送信しない
GS1 DataBar (RSS) ファミリー		指定できるオプションがないので、常に『0』が送信されます。  GS1 DataBar Omnidirectional (RSS 14) と GS1 DataBar Limited (RSS Limited) はアプリケーション識別子『01』も送信します。  注意: UCC/EAN-128 エミュレーション・モードでは、Code 128 の規則で送信されます。(すなわち『C1』)
	例:	GS1 DataBar Omnidirectional (RSS 14) バーコード 『100123456788902』の場合、『e001100123456788902』と送信されます。

# AIM コード ID 一覧

## 修飾キャラクタ表

コード種別	オプション値	説明
EAN/UCC コンポジット (GS1 DataBar、 UCC/EAN-128、 UPC コンポジット)		ネイティブモード送信。 コンポジットの UPC 部分は、UPC の規則で送信されま す。
	0	標準データ。
	1	分離符キャラクタに続くデータを含むデータパケット。
	2	エスケープキャラクタに続いてデータを含むデータパケ ット。 ECI プロトコルはサポートしません。
	3	エスケープキャラクタに続いてデータを含むデータパケ ット。 ECI プロトコルはサポートします。
	1	UCC/EAN-128 エミュレーション。 コンポジットの UPC 部分は、UPC の規則で送信されま す。 UCC/EAN-128 のデータパケット。(すなわち、データの 先頭に『JC1』が付加されています)
PDF 417、Micro PDF 417	0	リーダーは、1994 年の PDF 417 の仕様で定められてい るプロトコルに一致する。 注意： このオプションが送信された時、受信側は ECI(拡張 チャネル解釈)が呼び出されたかどうか、または送信中 にデータバイト 92DEC が倍になったか確定できませ ん。
	1	リーダーは、ECI(拡張チャネル解釈)プロトコルに従うた めに設定されました。全てのデータキャラクタ92DEC が倍 にされます。
	2	リーダーは、基本的なチャネル処理(エスケープキャラクタ がない送信プロトコル)のために設定されました。データキ ャラクタ 92DEC は倍にされません。 注意： デコーダがこのモードに設定された時、バッファがない Macro シンボルと ECI エスケープ文字列を伝えること をデコーダに要求しているシンボルは、送られることが できません。
	3	バーコードは UCC/EAN-128 シンボルを含んでいます。 最初のコードが『903』～『907』、『912』、『914』、『915』 です。
	4	バーコードは UCC/EAN-128 シンボルを含んでいます。 最初のコードが『908』～『909』です。
	5	バーコードは UCC/EAN-128 シンボルを含んでいます。 最初のコードが『910』～『911』です。
	例:	PDF417 バーコードで有効な転送プロトコルがない場合『ABCD』 は、『L2ABCD』と送信されます。

## AIM コード ID 一覧

### 修飾キャラクタ表

コード種別	オプション値	説明
Data Matrix	0	ECC 000～410、サポートされていません。
	1	ECC 200。
	2	最初か 5 番目の位置に FN1 がある ECC 200。
	3	2 番目か 6 番目の位置に FN1 がある ECC 200。
	4	ECI プロトコルが実装された ECC 200。
	5	最初か 5 番目の位置に FN1 があり、ECI プロトコルが実装された ECC 200。
	6	2 番目か 6 番目の位置に FN1 があり、ECI プロトコルが実装された ECC 200。
MaxiCode	0	モード 4 か 5 のシンボル
	1	モード 2 か 3 のシンボル
	2	モード 4 か 5 で ECI プロトコルが実装されたシンボル。
	3	モード 2 か 3 で ECI プロトコルが実装されたシンボル
QR コード	0	モデル 1 のシンボル
	1	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されていないシンボル
	2	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されているシンボル
	3	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されていない、最初の位置に FN1 があるシンボル
	4	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されていて最初の位置に FN1 があるシンボル
	5	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されていない、2 番目の位置に FN1 があるシンボル
	6	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されていて 2 番目の位置に FN1 があるシンボル

## ASCII キャラクタ設定用コード表

プレフィックス、サフィックス等で付加する文字 (ASCII キャラクタ) の値になります。  
設定する際はコード表の「設定値」を確認して「数字バーコード」にてバーコードをスキャンしてください。

「キーストローク」のカッコ内は USB-COM で接続した際の出力になります。

設定値	Full ASCII Code 39 エンコードキャラクタ	キーストローク
1000	%U	Ctrl+2(NUL)
1001	\$A	Ctrl+A(SOH)
1002	\$B	Ctrl+B(STX)
1003	\$C	Ctrl+C(ETX)
1004	\$D	Ctrl+D(EOT)
1005	\$E	Ctrl+E(ENQ)
1006	\$F	Ctrl+F(ACK)
1007	\$G	Ctrl+G(BEL)
1008	\$H	Ctrl+H(BCKSP)
1009	\$I	Ctrl+I(HORIZ TAB)
1010	\$J	Ctrl+J(LF/NW LN)
1011	\$K	Ctrl+K(HM)
1012	\$L	Ctrl+L(CL)
1013	\$M	Ctrl+M(CR/ENTER)
1014	\$N	Ctrl+N(SO)
1015	\$O	Ctrl+O(SI)
1016	\$P	Ctrl+P(DLE)
1017	\$Q	Ctrl+Q(DC1/XON)
1018	\$R	Ctrl+R(DC2)
1019	\$S	Ctrl+S(DC3/XOFF)
1020	\$T	Ctrl+T(DC4)

1021	\$U	Ctrl+U(NAK)
1022	\$V	Ctrl+V(SYN)
1023	\$W	Ctrl+W(ETB)
1024	\$X	Ctrl+X(CAN)
1025	\$Y	Ctrl+Y(EM)
1026	\$Z	Ctrl+Z(SUB)
1027	%	Ctrl+[ (ESC)
1028	%	Ctrl+\ (FS)
1029	%	Ctrl+] (GS)
1030	%	Ctrl+6 (RS)
1031	%	US
1032	Sp	Spac
1033	/A	!
1034	/B	"
1035	/C	#
1036	/D	\$
1037	/E	%
1038	/F	&
1039	/G	'
1040	/H	(
1041	/I	)
1042	/J	*
1043	/K	+
1044	/L	,
1045	-	-
1046	.	.
1047	/O	/
1048	0	0
1049	1	1



1050	2	2
1051	3	3
1052	4	4
1053	5	5
1054	6	6
1055	7	7
1056	8	8
1057	9	9
1058	/Z	:
1059	%F	;
1060	%	<
1061	%	=
1062	%I	>
1063	%J	?
1064	%	@
1065	A	A
1066	B	B
1067	C	C
1068	D	D
1069	E	E
1070	F	F
1071	G	G
1072	H	H
1073	I	I
1074	J	J
1075	K	K
1076	L	L
1077	M	M
1078	N	N

1079	O	O
1080	P	P
1081	Q	Q
1082	R	R
1083	S	S
1084	T	T
1085	U	U
1086	V	V
1087	W	W
1088	X	X
1089	Y	Y
1090	Z	Z
1091	%	[
1092	%L	\
1093	%	]
1094	%	^
1095	%	_
1096	%	`
1097	+A	a
1098	+B	b
1099	+C	c
1100	+D	d
1101	+E	e
1102	+F	f
1103	+G	g
1104	+H	h
1105	+I	i
1106	+J	j
1107	+K	k

1108	+L	l
1109	+M	m
1110	+N	n
1111	+O	o
1112	+P	p
1113	+Q	q
1114	+R	r
1115	+S	s
1116	+T	t
1117	+U	u
1118	+V	v
1119	+W	w
1120	+X	x
1121	+Y	y
1122	+Z	z
1123	%	{
1124	%	
1125	%	}
1126	%	~
1127		Undefined(DEL)
7013		ENTER(CR/LF)

## ALT キーセット設定用コード表

設定値	キーストローク
2064	ALT 2(@)
2065	ALT A(A)
2066	ALT B(B)
2067	ALT C(C)
2068	ALT D(D)
2069	ALT E(E)
2070	ALT F(F)
2071	ALT G(G)
2072	ALT H(H)
2073	ALT I(I)
2074	ALT J(J)
2075	ALT K(K)
2076	ALT L(L)
2077	ALT M(M)
2078	ALT N(N)
2079	ALT O(O)
2080	ALT P(P)
2081	ALT Q(Q)
2082	ALT R(R)
2083	ALT S(S)
2084	ALT T(T)
2085	ALT U(U)
2086	ALT V(V)
2087	ALT W(W)
2088	ALT X(X)
2089	ALT Y(Y)
2090	ALT Z(Z)

## ファンクションキーセット設定用コード表

設定値	キーストローク
5001	F1(SOH)
5002	F2(STX)
5003	F3(ETX)
5004	F4(EOT)
5005	F5(ENQ)
5006	F6(ACK)
5007	F7(BEL)
5008	F8(BS)
5009	F9(HT)
5010	F10(LF)
5011	F11(HM)
5012	F12(CL)
5013	F13(CR)
5014	F14(SO)
5015	F15(SI)
5016	F16(DLE)
5017	F17(DC1)
5018	F18(DC2)
5019	F19(DC3)
5020	F20(DC4)
5021	F21(NAK)
5022	F22(SYN)
5023	F23(ETB)
5024	F24(CAN)

## テンキーセット設定用コード表

設定値	キーストローク
6042	*
6043	+
6044	undefined
6045	-
6046	.
6047	/
6048	0
6049	1
6050	2
6051	3
6052	4
6053	5
6054	6
6055	7
6056	8
6057	9
6058	Enter(:)
6059	Num Lock(;) )

## 拡張キーセット設定用コード表

USB のみ可能 (USBCOM では使用できません)

設定値	キーストローク
7001	Break
7002	Delete
7003	PgUp
7004	End
7005	Pg Dn
7006	Pause
7007	Scroll Lock
7008	Backspace
7009	Tab
7010	Print Screen
7011	Insert
7012	Home
7013	Enter
7014	Escape
7015	Up Arrow
7016	Down Arrow
7017	Left Arrow
7018	Right Arrow

## 困ったときは(FAQ)

### \*\*\*\*\* 設定に関するもの \*\*\*\*\*

- 新雑誌コードを読みたい  
マニュアル P28 「UPC/EANJAN アドオン」項目内の[自動識別]のバーコードをスキャン
  
- JAN コードの先頭の「0」が読み込まれない  
マニュアル P30 「UPC-A プレマブル」項目内の[国コードを付加して、NS も送信する]のバーコードをスキャン
  
- バーコードの後ろに改行コードを付加したい  
マニュアル P68 「プリフィックス・サフィックス値」項目内の[サフィックス 1]のバーコードをスキャン  
マニュアル P71 「数字バーコード」項目内の[7]、[0]、[1]、[3]のバーコードを順番にスキャン  
マニュアル P69 「送信データフォーマット」項目内の[<データ><サフィックス 1>]のバーコードをスキャン
  
- KeyPad Enter (テンキーエンター)にしたい  
マニュアル P68 「プリフィックス・サフィックス値」項目内の[サフィックス 1]のバーコードをスキャン  
マニュアル P71 「数字バーコード」項目内の[6]、[0]、[5]、[8]のバーコードを順番にスキャン  
マニュアル P69 「送信データフォーマット」項目内の[<データ><サフィックス 1>]のバーコードをスキャン
  
- エクセルで正しく表示されない(・・E+12 と表示される)  
エクセル側の設定によるものです。
  1. 「Excel」のツールバーにて[書式(O)] → [セル(E)]を選択して開きます。または、セルを右クリックして[セルの書式設定]を開きます。
  2. ダイアログ[セルの書式設定]のタブ[書式設定]のリストから[文字列]を選択して[OK]をクリックします。
  3. 書式設定を行ったセルでバーコード入力するとデータ通りに表示されます。設定を行ったセルのみに反映されます。他のセルにも入力する場合は、ドラッグして設定セルを拡張してください。



## 困ったときは(FAQ)

### \*\*\*\*\* 設定に関するもの \*\*\*\*\*

- 符号文字(/、=、\_、@等)が正しく表示されない。  
マニュアル P18 「キーボードタイプ」項目内の[日本版 Windows]のバーコードをスキャン
- Windows98 (SE)でドライバーが要求される  
Windows ドライバーインストール画面では[次へ]～[次へ]～と進めてください。自動でドライバーがインストールされます。  
(「Windows98 (SE)でドライバーを要求される」の続き)  
これでインストールされない場合は、検索場所の指定で「C:¥WINDOWS¥INF」と指定します。  
(ない場合は Windows の CD-ROM をご用意ください)
- 途中で桁が抜けたり、後半の桁が抜けたりします。  
入力が速すぎることが考えられます。  
マニュアル P19 「キャラクタ間遅延」項目内の[20 ミリ秒]もしくは[40 ミリ秒]のバーコードをスキャン

## 困ったときは(FAQ)

### \*\*\*\*\* ハードウェアに関するもの \*\*\*\*\*

- バーコードリーダーが認識されない  
Windows では、バーコードリーダーは、HID キーボードとして認識され動作します。[デバイスマネージャー]にてキーボードの項目を確認し、正常に認識されているかご確認ください。異常がでている場合は、別の USB ポートに接続するか、バーコードリーダーを接続したまま Windows を再起動してください。
  
- 読み込みが不安定
  1. マニュアル P9 [工場出荷状態に戻す]のバーコードをスキャンしてください。  
マニュアル P17 「USB デバイスタ입」項目内の[HID キーボードエミュレーション]のバーコードをスキャンしてください。
  2. USB 接続の場合は、使用するポートを変えてお試しください。
  3. USB ハブをご使用の場合は、直接 PC と接続しておためさい。
  4. バーコードの印刷状態が悪い場合は読み込みが著しく悪くなります。
  5. 実際に読み取るコードのみ有効にして、その他のコードを読み取りできない設定にすると、読み取り速度が上がります。
  
- バーコードが読めない
  1. インターフェース設定が変更された可能性があります。  
[USB]でお使いの場合  
マニュアル P17 「USB デバイスタ입」項目内の[HID キーボードエミュレーション]のバーコードをスキャンしてください。
  2. バーコードの印刷精度の問題(コードのにじみ・ムラ等がないかご確認ください)
  3. バーコードリーダーの性能の限界  
非常に微細なコード(マイクロバーコード)は読めない場合があります。  
ドットインパクトプリンターで印刷されたバーコードは不明瞭なことが多く、読めない場合があります。
  4. バーコードの印刷色・下地の色による問題  
印刷色によっては読み取りにくい場合があります。(青や赤や緑や銀等)  
バーコードの両脇に黒い枠線などがあると、読み取りにくい場合があります。  
印刷されたバーコードの桁数最小値(最大値)より少ない(多い)場合も読めません。

# サンプルバーコード

Code 39



UPC-A



EAN-13



Code 128

CODE128

Interleaved 2 of 5 (ITF)



## サンプルバーコード

GS1 DataBar Omnidirectional (RSS 14)



7612341562341

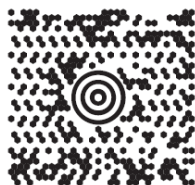
PDF 417



DataMatrix



MaxiCode



QRコード

